

平成31年度(令和元年度) 「塩釜高校入学式」

Copyright©2019shiogama high school 総務部

平成31年4月8日月曜日14時

✿「男子校と女子校が統合され10回目！」✿

平成31年度(令和元年度)の「宮城県塩釜高校入学式」は、ビジネス科80名・普通科280名(計360名)の新入生を迎えて挙行された。新入生代表の千葉結香さんは「念願叶ってこの歴史と伝統ある塩釜高校に入学できました。これから始まる新しい生活への期待と不安でいっぱいですが、塩釜高校生として自覚と誇りを持ち、四つの校訓を胸に刻み、その実現のために努力したい」と語った。

竹内透校長は『夢』というテーマで式辞を述べられた。「努力することは大切だが、一方で、人は挫折によって強く大きくなる。精一杯努力したのにだめだったという体験から、自分の限界や世の中の広さ、心の痛みを学ぶことができる。つまり、世界が広がる」のだと話した。(式辞全文は3頁)



✿✿✿ 1学年主任より ✿✿✿

「入学おめでとう!!」

私は大阪で生まれ、宮城で小学校を出ました。しかし、人から出身地を尋ねられると、「兵庫県」と答えます。高校を出た場所であり、高校時代こそが今の自分を作ったと思うからです。皆さんにとってそんな時間が今始まることをお祝いするとともに、その時間に立ち会える自分を幸せだと思います。いい3年間にできるよう、頑張ってください。

1学年主任 平居高志



左：吹奏楽部の演奏で、合唱部・生徒会のみなさんに校歌紹介をして頂きました。

中：尾形PTA会長からご祝辞を頂きました。

右：入学式後に行われたPTA入会式の様子。

TOPIX



新入生代表挨拶



校長式辞



新入生入場



呼名の様子



吹奏楽部による演奏



ホームルームにて



ビジネス科の担任からの指導の様子



新入生退場

学校長式辞（全文）

例年になく暖かい冬が過ぎたかと思うと、花冷えの日が続きました。桜の開花も足踏みのようです。平成から令和へ、新元号も決まり、節目の年となりました。

本日ここに、本校PTA会長、尾形康雄様はじめ、多くのご来賓の方々、並びに保護者の皆様のご臨席を賜り、宮城県塩釜高等学校第10回入学式を挙行できますことは、本校にとって大きな喜びであります。学校を代表し感謝申し上げます。

さて、新入生の皆さん、入学おめでとう。塩高生としての最初の日にあたり、『夢』というテーマで話をします。

江戸時代中期の米沢藩主、上杉鷹山の有名な言葉です。

「為せば成る、為さねば成らぬ何事も、成らぬは人の為さぬなりけり。」

やる気さえあれば何でもできる、ということでしょうか。あきらめずに努力すれば夢は叶う、という文脈の中で、よく引用されます。この場合の『夢』とは、『将来の目標』というほどの意味です。しかし、本当に、あきらめずに努力すれば、夢は必ず叶うのでしょうか。

藤井聡太七段の活躍で、子供たちの間でも将棋が人気だそうです。プロ棋士になるには、大変な難関を乗り越えて、『奨励会』の会員にならなければいけません。そして、その中の2割しかプロにはなれないそうです。才能に恵まれ、人に倍する努力をしても、なお叶わぬ夢があるということです。

ですから、あきらめずに努力を続ければ、必ず夢が叶うという命題は、真ではありません。しかし、それまでの努力は無駄だったのかというと、それは違います。

高校球児達の夢は、もちろん甲子園ですが、県予選を勝ち抜き晴れの舞台に立てるのは、一校だけです。甲子園を目指して練習に励んだ、他の選手達にとっては、夢は潰えたこととなります。けれども彼らは、厳しい練習を通して、強い精神力やかけがえのない友情といった、得がたい財産を手に入れたはずです。

勉強でも同じです。一生懸命勉強したのに、希望する大学に合格できなかった。でも、だからといって、勉強したことが無駄になるなんてあり得ません。慎むべきは、努力せずに結果だけを求めることです。勉強しないでいい点を取ろうとは、考えない方がいい。テストでいい点を取っても、得るものが少ないからです。

私は、人生には挫折も必要だと思っています。その時には、打ち拉がれたとしても、麦が踏まれるほど強くなるのと同じように、人も、挫折によって、強く大きくなれるものです。精一杯努力したのにだめだったという体験から、人は、自分の限界や、世の中の広さや、心の痛みといったものを学べるからです。つまり、世界が広がるのです。

二〇世紀を代表する哲学者、サルトルは、『実存主義とは何か』という本の中で、人間は自由であり、つねに自分自身の選択によって、行動すべきものである。と述べています。

彼の思想は、二〇世紀後半の若者の生き方に、大きな影響を与えました。私も、その一人です。夢を見つけるとは、幾つもの選択肢の中から、一つの目標を選ぶことです。そして、選ぶのは他の誰でもない、自分自身です。そのときになって正しい選択ができるように、皆さんはこれから、たくさん勉強するのです。勉強して、自分の器を大きくするのです。器が小さければ、選択の幅が狭まる

し、何より選択そのものが危くなります。

勿論、勉強とは教科の学習ではありません。部活動で汗を流すのも、皆と協力して行事を盛り上げるのも、恋愛や友人関係で悩むのだって、立派な勉強です。しかし、高校ではやはり、教科の学習が第一です。努々、疎かにしてはいけません。

夢に向かって努力するのは、素晴らしいことです。しかし、大切なのは努力することであって、その結果ではない、ということを、胸に刻んでください。

これから、長いようで短い三年間が始まります。勉強や部活に一生懸命取り組んで欲しいと思いますが、何でも自分の思うようにいくわけではありません。迷ったり悩んだり、苦しんだり憤ったり、ということが、君たちくらい年齢にはありがちだし、無くては困ります。それは感受性が豊かな証拠だし、そうやって、人は成長するのです。

塩釜高校での三年間を通して、勉強に励み、部活動に打ち込み、夢を見つけ、そして時には挫折も経験し、人として大きく成長して欲しいと思います。

保護者の皆様に申し上げます。本日はまことにおめでとうございます。

新入生にも話しましたが、全てが順風満帆な人生などあり得ない様に、高校生活に限ってみても、山もあれば谷もあります。嵐も吹けば雪も降ります。ただ、順調でない時こそ、成長のチャンスだと、私は信じています。そういう時には、ぜひ、お子様の支えになってあげてください。

学習について一言だけ申し上げます。東北大学の川島隆太教授の研究によれば、スマホと夜更かしを止めれば、成績は必ず上がります。詳しくは、川島教授の著書、『スマホが学力を破壊する』をご一読ください。

新入生諸君。君たちはこれから、青春と呼ばれる、人生の中で最も美しい季節を迎えます。塩釜高校での三年間が、君たち一人一人にとって実り多く、輝きに満ちたものであることを願い、式辞といたします。

平成31年4月8日

宮城県塩釜高等学校
校長 竹内 透